

## 「恵まれぬ人々へ恩返しする時は今」

人は皆、生まれ持った生きる望みを追い求めて生きています。どんな境遇に生まれつこうとも、どんな特質を持って生まれたとしても、生きる望みを失ってしまっても、命を失うその時まで、懸命に生きてゆくものです。人生は、いつどうなるかわかりません。時に思いもよらぬ不遇に陥ることもあります。時には自暴自棄になるとしても、それはまた自分の心を守る為、癒す為の自己防衛かも知れません。どんなに可能性を奪われたとしても、最期の瞬間まで私達は何とかして生きてい、死にたくないと欲するものだと思います。誰も例外無く死ぬのに、誰も死んだ後のことはわからない。信仰しか持ち得ないと思います。だからこそ死は、不安と恐怖の極致ともなります。その恐怖の淵に引き込まれたくないからこそ、必死で生きようと思します。その人間の切なる願いを叶えることこそ、政治の最大の使命なのだと思します。死から逃れることは出来ませんが、死から逃れたいとの願いを最大限叶える支援をしなければならぬのだと思します。だからこそ、どんな大義の為といえども、どのような命でも軽んじるような考え方は糾弾されるべきだと思します。

人はそれぞれ生まれついた境遇や特質を持っています。その境遇や特質が、この時代のこの場所を生きるのに、より適しているか、そうでないかの差はどうしても出てきます。それは選べなかつた

んだと思します。気が付いた時には、もうそうなっていたのです。人生は不平等だし不公平です。そして私達は、その不平等と不公平を背負って生きていかなければなりません。人類の指導者達は、その多くの人々がそれぞれの人生を背負い、究極の切なる願いである、生きたいと願う思いを最大限叶える為の事に、専心しなければならぬのだと思します。

恵まれた人達が、実現された自由で平和な世界を最高の舞台として、その恵まれた境遇と特質を發揮して、世界の富と力を一手に握ろうとしています。しかし、忘れてはいけないと思します。その自由で平和な世界がどんなに多くの人々の血と汗と涙で出来上がってきたのか、そしてその境遇と特質は、類稀なる幸運によって与えられたという事を。そしてその成功の足元には成功者の数倍、数十倍、数百倍の恵まれぬ人々の汗と涙と血が流れているという事を。

優れた人達が様々な分野で素晴らしい働きをし、人類に貢献し、恵まれぬ人々を含めてその人生の福利を増進し、世界を素晴らしく変えてきた功績を讃えることに、全くやぶさかではありませぬし、それに相応しい報酬を様々な形で受け取っていることにも、何の文句もありません。それだけの仕事を残すのに、人の何倍もの努力と汗を重ねてきたことでしょうし、心を砕き、知恵を絞ってこられたことでしょうし、

か、その努力出来るという特質さえも、やはり与えられたものでもあると思します。頑張っても頑張っても、成果が出せずに悲嘆に暮れている方々、努力しなければとわかつていても、どうしても出来ずに自暴自棄になっている方々の虚しさや苦しみを世に溢れているのですから。

恵まれた境遇や特質を備えた優れた方々には、自らを誇ることや、飽くなき成功欲を追い求めることからそろそろ卒業していただき、恵まれぬ人々の為にその力を使って助けていいただきたいと思します。恵まれぬ人々は、皆さんの成功を、涙を拭いながら支えてきたのですから、その恩返しをされるべきではないでしょうか。恵まれぬ人々の欠点を非難するのやめてください。貴方にも欠点はあるでしょう。貴方も境遇が暗転する事もあるでしょう。成功者が恵まれぬ人々への感謝報恩と見識や節度を失えば、その成功を支えてきた平和も自由も瓦解していく事になるでしょう。いやもうそれは始まっています。世界的な様々な格差の拡大が、世界に蔓延し始めたテロの温床でしょう。行き過ぎた個人主義と人間関係の断絶によって、かつての共同体が、砂のように孤立した個人の集合体になり果て、個人の狂気が突然に凄惨な事件を生み出す社会になってしまつた。それも、人間関係を育んできた時間を、産業成長の為に際限なく絞り取っていった結果ではな

いのでしょうか。これでは人間社会は草木も生えぬ砂漠に変わり果ててしまふ。いや、もうそうなるてしまつたからこそ、子供が生まれ育たぬ社会となつてしまつたのかも知れません。

恵まれぬ人々に、お金も時間も優しさも返していかなければならぬのではないのでしょうか。それを返したら昔の元の社会にただ戻つてしまふのなら、生産性の高い効率的な世界が出来たという事は嘘になつてしまふ。ただ、富を奪い集めて築いた幻想の社会に過ぎなかつたという事になつてしまふ。いえ決してそうではないはずです。

富も力も時間も集中し過ぎています。その集中によって生み出された成果が、充分に還元されていません。今こそ、集められた全ての良きものを、恵まれぬ人々にしっかりと返ししなければならぬ時です。もう遅過ぎています。社会は軋んでいます。綻び、壊れ始めようとしています。優れた者なら、もっと大きく目を見開いて、世界を見渡してください。社会が崩壊して焼野原から再建する愚を選挙しないでください。自分達の力で、潔く自己変革する勇氣と賢明さを持っていただきたいと思します。明治維新の偉大さとは、まさにそれが出来たことだと思します。先人に恥じない生き方をしたいと願います。

Facebookでも活動報告を行っています。〈Facebookアドレス〉<https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください! お待ちしています。

あなみ よういち

衆議院議員

穴見陽一

後援会  
事務所

〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net